

3 年生の思い出

では、個人面接や集団面接を通してアドバイザーをもらい丁寧な受け答えができるようになりました。試験勉強では、一人一人の進路にあった学習方法を用いて実力をつけていきました。その結果、就職 14 人（県内：11 人、県外：3 人）、進学 5 人（県内：2 人、県外：3 人）と全員の進路が決まり、とても安心しました。

3 年間私たちを支えてくださった先生方、家族の皆さん本当にありがとうございました。これからの更なる活躍を期待しています!!

今年度卒業する 3 年生は男子 10 人、女子 9 人の計 19 人です。入学当初は新しいメンバーと新しい環境に不安を感じていました。しかし、3 年間過ごしていくうちに日常の中で些細な話でも盛り上がる明るく賑やかなクラスになりました。学校行事でも一人一人が自分の最大限の力を発揮し成功を収めようと頑張りました。

今年度は特に進路活動に力を入れ、たくさん先生方にご指導いただきました。面接練習

高校生活の思い出 BEST 3

3 年間で心に残った行事をランキング形式で発表していきたいと思います。（なお私の独断と偏見です（*´ω`））

第 1 位：体育祭

1、2 年生の頃は新型コロナウイルスの影響が大きかったのですが、今年の体育祭は大きな声で応援するなど今までできなかったことができようになりました。



第 2 位：学校祭

各教室の展示をみんなが張り切って作って訪れた人たちがとても楽しそうでした。スリージ発表では有志の人たちが歌ったり踊ったりして盛り上げていました。観客席からもペンライトを振って応援しました。



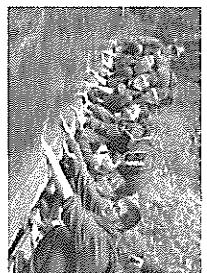
第 3 位：球技大会

みんなが力を合わせてルールを守って楽しくゲームをしました。悔しい場面もありましたが、総合優勝したことが嬉しかったです。

1 年生 島海探究 I を通じて

矢高高校では総合的な探究の時間「島海探究」で地域の歴史や文化、自然を体験的に学習しています。こうした学習を通じて地域の課題を見つめ、将来この地域を支える立場となった時にどのように行動するかについて学んでいます。今回はその中でも特に印象に残っていることについて、振り返っていきます。

まず、印象に残っているのは佐藤政忠家住宅です。佐藤政忠は長慶戦争で矢島藩の百宅口守備隊長として指揮をとった人です。住まいとした住宅は現在の矢島総合支所の隣にあります。刀が振れないように天井が低くなっていたり、敵が侵入しないように床下が狭くなったりしていました。昔の人たちの知識や死と隣り合わせの生活は、今では考えられないと思いました。その後、大井家住宅や土田家住宅など、歴史的価値の高い住宅をいくつも見学しました。矢島町は歴史の教科書で学ぶ内容とも縁のある地域で、その歴史の奥深さや現代に至る歴史のつながりに感動を覚えました。



次に印象に残っているのはにかほ市巾着台にある獅子ヶ鼻温泉の見学です。ここでは、あかりこ大王をはじめ異形巨木群が、神秘的空間を作り上げていました。まるでジブリの世界のようでした。地域の豊かな自然環境について学んでいくと、私たちの生活の豊かさや、島海山と日本海によってもたらされたことがわかってきました。

2 年生 藤々が行事・体験を通して

私たち 2 年生は、今年、新型コロナウイルスの制限が大幅に緩和されたことによって、去年体験できなかった行事も体験することができ、とても新鮮な 1 年だったと思います。その中でも印象に残ったことが 2 つあります。

1 つ目は、矢高祭で行った「坂之下番楽」の披露です。道級当初の 4 月から、矢高祭本番の 10 月までの約半年間、毎週金曜日 5・6 時間目の島海探究 II の時間に、先輩方のお手本動画を参考にしながら練習しました。最初は、楽譜を読むことすら難しかったのですが、友達と教え合いながら練習することで形になっていきました。本番はとても緊張しましたが、練習の成果を十二分に発揮し、練習から本番まで一番上出来のステージになったと思います。

2 つ目は修学旅行です。今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策の制限が大幅に緩和されたことにより、3 年ぶりに 3 泊 4 日で京都・大阪・奈良方面への修学旅行ができました。私自身は関西方面へ行ったことがなかったため、京都での自由行動は自分たちだけで行動できるのか不安でしたが、お互いに助けあひながら、無事京都市内を楽しむことができました。ユニバーサルスタジアムでは、秋田では考えられないくらい人が多くとても大変でしたが、人生で一度は行ってみたい場所だったので、行くことができよかったです。私たちが行った時期は、ちょうど「ホラーナイト」というイベントが行われていて、18 時を過ぎるとパーク内に様々な種類のゾンビが出現しました。実際にゾンビを見ることはできませんでしたが、パーク内では爆音で音楽がかかっていて雰囲気だけでも怖かったです。また、京都や奈良ではお寺を参拝しました。奈良の東大寺の大仏はテレビなどで見たことがありましたが、実際に見ると想像の 10 倍以上は大きく迫力があります。金閣寺や清水寺などテレビで見たことのある有名な観光名所をたくさん回ることができて、貴重な経験になりました。

修学旅行を通して自立することができたと思います。

最近では進路についての活動も多くなってきたとともに、このクラスで過ごすのも残り少なくなってきたと実感させられます。来年は最上級生となるので 1・2 年生のお手本になれるように行動を見直していきくとともに、14 人でたくさん思い出を作っていきたいです。（佐藤 乙楓）



今後の目標を教えてください。

高橋：まず、県大会で決勝まで勝ち進み、東北大会出場を目指します。できれば東北大会でベスト 8 に入るのが目標です。

武田：東北大会に出場してベスト 8 に入ることが、初めての、日々の練習から試合を意識して練習に取り組みたいと思います。

顧問の先生（土田伸也先生）の部活動での様子を教えてください。

高橋：練習では時に優しく、時に厳しく指導してください。授業にいます。

武田：練習メニューを考えたとき、試合の戦術について的確なアドバイスをしてくださったり、試合の戦術について的確なアドバイスをしてくださったりする、熱血先生だと思っています。

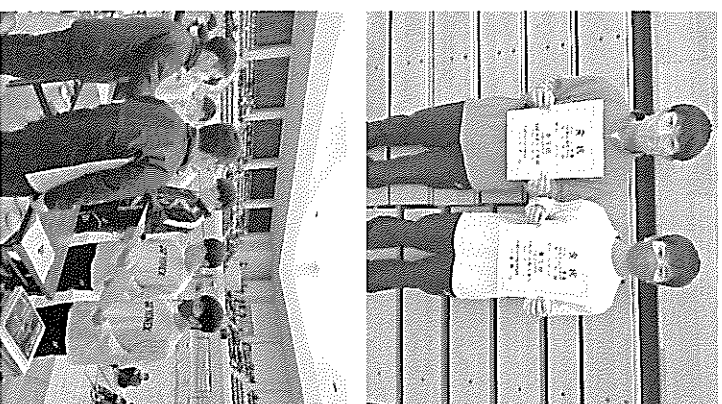
バドミントン部に入部した動機を教えてください。

高橋：中学校まではサッカー部でしたが、学校の部活動でバドミントンの楽しさを知り、中学校では野球部でした。遊びでバドミントンをしてみたいと思っていましたが、本格的に取り組んでみたいからです。

高橋：地区大会と県大会で 3 位入賞したことは嬉しいですが、上には上がいるので、その人達と互角に戦えるように頑張りたいです。

武田：地区大会も県大会も 3 位という結果について、準決勝ではあと少しのところで決勝戦に勝ち進むことができたので、少し悔しいです。

令和 4 年度の大会を振り返っての感想を教えてください。



矢高の未来

ありがとうございます!!